

第 26 期・第 4 回 薬学委員会 基礎系薬学分科会 議事録

日時：令和 8 年 5 月 8 日（火）10:00～12:00

場所：日本学術会議 5 階 5-A(1)会議室及びオンライン会議システム併用

出席者：眞鍋史乃委員長、藤田直也副委員長、石井 明子委員、小川 美香子委員、加藤 晃一委員、神谷 真子委員、北川 裕之委員、佐治 英郎委員、武田 真莉子委員、津本 浩平委員、徳山 英利委員、山崎委員、永次 史委員、庭山 聡美委員、樋口 ゆり子委員、三澤 日出巳委員、南 雅文委員

(0) 連携会員辞退の申し出に関して

分科会委員より提出された辞退の申し出について審議を行い、これを承認した。

(1) シンポジウム開催に向けての調整

シンポジウムの趣旨説明および講演者変更に関する報告が行われた。また、演者予定者より講演内容の概要紹介があり、大学共同利用機関の役割や学術振興構想の改訂動向について説明がなされた。さらに、産学官連携による創薬力強化と薬学人材育成について議論が行われ、現在の薬学教育における課題について意見交換がなされた。

(2) 今後の分科会活動の方向性について

次期分科会活動に関し、薬学教育制度および研究力強化に関する課題提起がなされた。薬学部 6 年制教育開始から 20 年を迎えることを踏まえ、その総括の必要性について意見が出された。また、他分野委員会の報告書事例を参考に、薬学分野としての報告書発出の可能性についても議論が行われた。加えて、大学や産業界における人材育成の現状、海外の薬学教育制度などについて紹介があり、今後の薬学教育の在り方について幅広い意見交換が行われた。最後に、薬学教育 6 年制の総括と薬学研究力強化について、次期分科会で継続的に検討していく方向性が了承された。

(3) その他

特記事項なし。